

MAX

取扱説明書

プロ用

このたびは、マックス充電式袋とじ機「モバイルパックナー」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて充分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

警告

●使用前に必ず取扱説明書を読む。

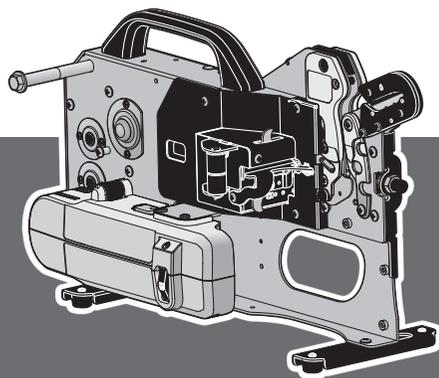
この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。

本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

- 電池パック
- 充電器
- 専用「プラステーブル」は別売りです

マックス充電式袋とじ機
モバイルパックナー

HR-JH(F)/P



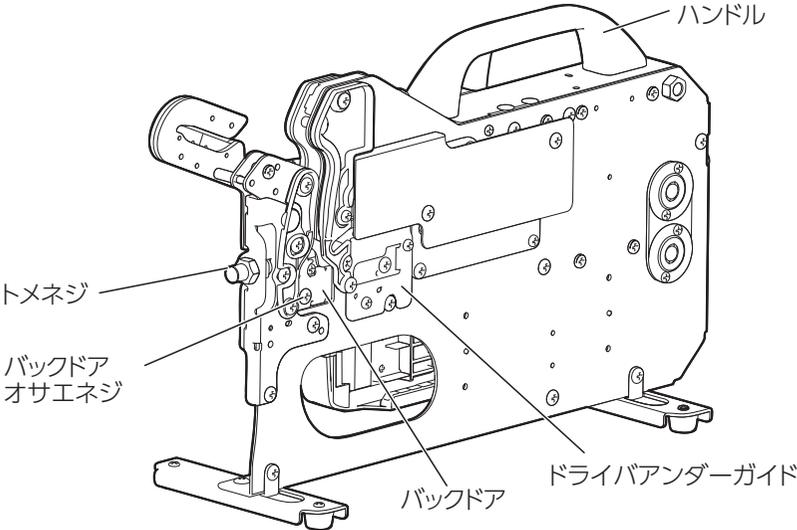
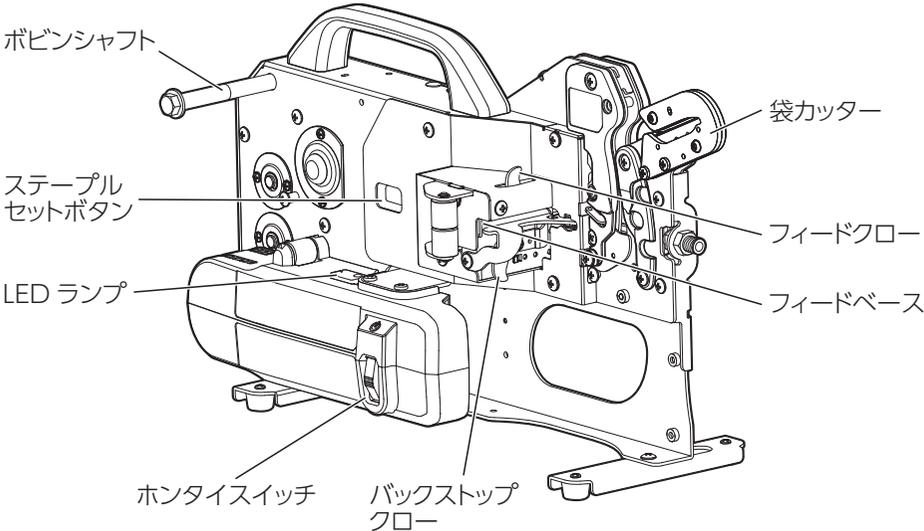
「モバイルパックナー」「プラステーブル」はマックス株式会社の登録商標です。

目 次

各部の名称	3
安全作業のために	5
仕様	16
ご使用時に必要な別売品の仕様	17
電池パックと充電器の使い方	18
使用方法	26
電池パックの取り付け、取り外し方	26
「プラステーブル」のセット方法	27
「プラステーブル」の取り外し方法	29
袋カッター位置の確認・変更方法	30
作動方法	32
「プラステーブル」の締め付け力の調整手順	35
カッターの交換手順	38
針詰まりの除去方法	40
性能を維持するために	43
オプションパーツのご紹介	45
オプションパーツの組付け方法	46
LEDランプの表示について	50
保証、アフターサービスについて	51

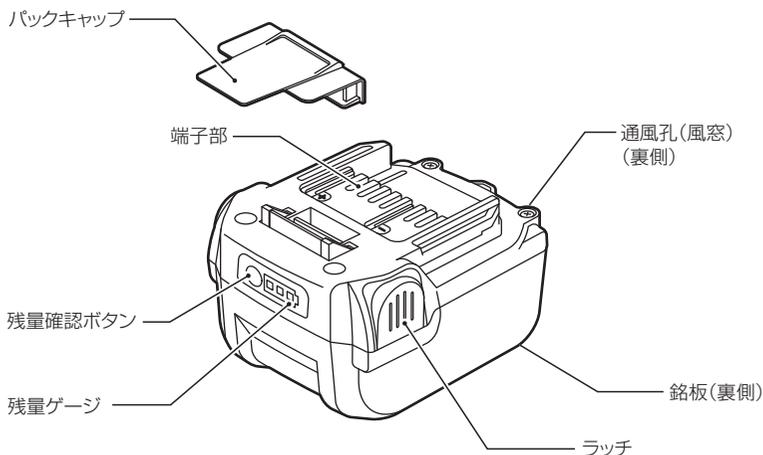
各部の名称

【本体】



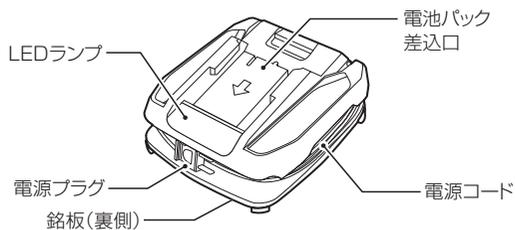
【電池パック】(別売)

リチウムイオン電池パック JP-L91450A



【充電器】(別売)

リチウムイオン充電器 JC-925A



【専用プラステープル】(別売)

マックスプラステープル
S615V0-Pボビンシリーズ



【潤滑油】(別売)

パックナーオイル



▲ 安全作業のために

本機は、青果や果物の袋、およびネットの袋口結束を目的とした機械です。水を含んだ内容物の袋口止め用途には使用できません。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。特に機械にセットする前に、「プラステابل」表面に油、ホコリ、水がついていると、正常にとじられなかったり、搬送中に「プラステابل」がはずれる可能性があります。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**▲ 警告**、**▲ 注意**、**ご注意** に区分してありますが、それぞれ次の意味を表します。



警告

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**▲ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

ご注意

製品、付属品の取扱い及びメンテナンスなどに関する重要なご注意。

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全作業のために」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全作業のために」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

安全作業のために、使用前に取扱説明書を必ず読む。

専用の充電器や電池パックを使用する。

- ・ 指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。
- ・ 指定した電池パック以外は充電しないでください。
指定以外の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱のおそれがあります。

正しく充電する。

- ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。
昇圧器などのトランス類、直流電源や、マッチング確認済みの発電機以外では使用しないでください。
充電器の故障の原因や異常発熱により火災のおそれがあります。

<マッチング確認済み機種>

メーカー名	分類名	機種名	定格出力	定格電圧	定格電流
株式会社やまびこ (新ダイワ)	インバータ 発電機	IEG2800M	2.8KVA	単相 100V	28A
		IEG2801M	2.8KVA	単相 100V	28A

- ・ 温度が5℃未満、または温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。
- ・ 電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
破裂や火災のおそれがあります。
- ・ 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災のおそれがあります。
- ・ 充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。

電池パックの端子間を短絡（ショート）させない。

電池パックの端子に金属を接触させたり、釘など金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡（ショート）して発煙・発火・破裂などのおそれがあります。

ぬれた手で充電器の電源プラグに触れない。

感電のおそれがあります。

電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことをしない。

- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
- ・ 雨や水に濡らさないでください。

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しない。

爆発や火災のおそれがあります。

火災のおそれがありますので次のことをしない。

- ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では、充電しないでください。
- ・通風孔（風窓）のある充電器は、充電中に通風孔をふさがないでください。また通風孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないでください。
- ・綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。

充電器は充電以外の用途に使用しない。

電池パックを使用しない時は、必ずパックキャップをかぶせる。

電池パックは、電池パックと充電器の使い方に従って正しく使用する。

作業場の周囲状況も考慮する。

- ・充電袋とじ機、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙のおそれがあります。
- ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故のおそれがあります。
- ・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

下記操作時には必ず充電袋とし機のスイッチを切り、電池パックを抜く。

- ・作業の中断、終了時
- ・ステーブルの装填、抜き取り時
- ・機械の調整、修理時
- ・機械の移動、運搬時

不意に充電袋とし機が作動して、事故やけがの原因になります。

不意な始動は避ける。

- ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電池パックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
- 不意に充電袋とし機が作動して、事故の原因になります。

指定の付属品やアタッチメントを使用する。

この取扱説明書、および当社カタログに記載されている関連商品・備品以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因になります。

電池パックを火中に投入しない。

破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

電池パックの液が漏れた時は、素手で液をさわらず、以下の処置をする。

- ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
- ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で充分洗い流した後、医師にご相談ください。
- ・液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。

使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。

充電中、発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電を中止する。

そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

異常を感じたら絶対に使用しない。

スイッチが入らない、機械の動きが止まらない、本機が高温になる等、作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理なさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。そのまま使用を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

⚠ 安全作業のために

⚠ 注意

作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

子供を近づけないでください。

- ・ 作業者以外、充電袋とし機や充電器のコードに触れさせないでください。
- ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。

使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
- ・ 充電袋とし機や電池パックを温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
電池パック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

無理して使用しないでください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、充電袋とし機の能力に合った速さで作業してください。
- ・ モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
- ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
- ・ 充電袋とし機の最大能力を超えた作業はしないでください。
けがの原因になります。

きちんとした服装で作業してください。

- ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、駆動部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 安全作業のために

⚠ 注意

充電袋とじ機は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、袋やネットの不要部分を切るカッタは、よく切れる状態を保ってください。切れなくなった場合は刃を交換してください。
- ・カッタの交換や注油は、取扱説明書に従ってください。
- ・充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。けがの原因になります。

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

調整に使用した工具は、必ず取り外してください。

- ・スイッチを入れる前に、調節に用いた工具類が取外してあることを確認してください。付けたままですと、作業時に外れてけがの原因になります。

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合は、キャプタイヤコード、又はキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

油断しないで充分注意して作業を行ってください。

- ・充電袋とじ機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など充分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。軽率な行動や非常識な行動などすると事故やけがの原因になります。

⚠ 安全作業のために

⚠ 注意

損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか充分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
- ・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない充電袋とじ機は、使用しないでください。

充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて、充電を中止してください。

- ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

充電袋とじ機の修理は、専門店に依頼してください。

- ・サービスマン以外の方は、充電袋とじ機、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・充電袋とじ機、充電器、電池パックが熱くなったり、異常に気付いた時は、マックスエンジニアリングサービス(株)へお買い求めの販売店様を通じて点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
- ・修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

・騒音防止規制について

騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があり、規制値以下でご使用になる必要があります。状況に応じて遮音壁を設けるなどしてご使用ください。

⚠ 安全作業のために

⚠ 注意

- 使用前に必ず、「プラスターブル」が十分な保持力でとめられているかを確認してください。
- 空打ちとなった場合、必ず挿入口付近に「プラスターブル」が残っていないかどうか確認して取り除いてください。
- 本機を水ものの密封を目的に使用しないでください。

本機は水ものを密封することはできません。(シール性はありません。)

また、本機自体も防水されていませんので、水ものを密封する用途にはHR-AVII/TS、またはHR-AVIIIをご使用ください。

作業前

⚠ 警告

- ①雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
雨の中、水のかかる場所、湿気の多い場所、湿った場所では絶対に使用・放置しないでください。また、機械に水を絶対にかけないでください。感電事故やモータの絶縁不良につながり、危険です。
※結露による水滴がつく可能性がありますので、本機を温度変化の激しい場所へ移動させて使用しないでください。
- ②指定の電池パックを必ず使用してください。
マックスリチウムイオン電池パック(JP-L91450A)を使用してください。指定電池パック以外の使用は故障の原因だけでなく発火、発熱の危険性がありますので絶対にしないでください。
- ③火気には絶対に近づけないでください。
- ④揮発性可燃物のそばで絶対に使用しないでください。
ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの使用は、引火または爆発の恐れがあるので絶対に使用しないでください。
- ⑤ホントイスイッチ投入時に絶対にスイッチレバーに触れないでください。
ホントイスイッチ投入時にスイッチレバーを引いていると、いきなり機械が作動し危険ですから、スイッチレバーに触れないようにしてください。
- ⑥安定した台に固定してください。
本機を設置する作業台の安定性が悪いと、倒れたりして危険ですので、安定した台を使用してください。また作業中に本機が動いたり、倒れたりすることのないよう、独自にご用意いただいたクランプ等で固定してください。
- ⑦移動する際は、必ず電池パックを抜き、ハンドルを持ってください。
本機を移動する時にハンドル以外を持って移動すると、機械の損傷や思わぬ事故につながります。また、ハンドルを固定しているネジが緩いんでいないか、常に確認してください。

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

- ⑧「プラステーブル」の装填・交換の時は、必ずホントイスイッチを切り、電池パックを抜いてください。
- ⑨使用前に必ず正常に作動するか確認してください。正常に作動しない場合は使用しないでください。
使用前に品物が入っていないカラの袋を挿入し、本機が正常に作動するか確認してください。そのときに袋をとじている「プラステーブル」の形状が正常な状態になっているか、又、「プラステーブル」が袋から抜けかないか確認してください。とじ具合が「強すぎる」又は「弱い」場合には、取扱説明書の手順に従って締付け力を調整してください。又、単純に「強すぎる」「弱い」という状態ではなく、結束した「プラステーブル」の形状が異常だったり、機械が正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱に点検・修理に出してください。

⚠ 注意

- ①指定の潤滑剤以外は絶対に使用しないでください。
機械の潤滑性を高めるため潤滑剤を使用するときは、必ず指定のパックナーオイルを使用してください。パックナーオイル以外の潤滑剤を使用すると「プラステーブル」が割れる事がありますので、パックナーオイル以外の潤滑剤は絶対に使用しないでください。
- ②指定の「プラステーブル」を必ず使用してください。
指定された「プラステーブル」と異なるものを使用すると、本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定の「プラステーブル」をご使用ください。
- ③周囲温度が0℃～40℃の範囲で必ず使用してください。
周囲温度が0℃より低い場合は、「プラステーブル」が十分な保持力でとめられない可能性があります。また40℃を超える場所で使用しないでください。
※「プラステーブル」の温度も0℃～40℃の範囲で使用してください。保存温度が0℃より低い場合や、40℃より高い場合は30分以上おいて周囲の温度になじんでからご使用ください。

⚠ 安全作業のために

作業中

⚠ 警告

- ①異常を感じたら絶対に使用しないでください。
機械の調子が悪い時、異常に気付いた時は直ちにホントイスイッチを切り、使用をやめ、お買い求めの販売店、又はマックスエンジニアリングサービス(株)に点検・修理に出してください。
- ②電池パックはきちんと差し込んでください。
- ③電池パックや袋とし機に濡れた手で絶対に触れないでください。
濡れた手で接続端子や電装部に触れると、感電する恐れがありますので絶対にしないでください。
- ④ホントイスイッチが入っている時は、袋挿入口に絶対に指を入れないでください。
袋の挿入口は送りユニットが作動しているところです。危険ですから絶対に指を入れないでください。
- ⑤袋・ネットのカッタ部に絶対に指を入れないでください。
- ⑥針送り部付近に絶対に手を入れないでください。
針送り部は機械が作動しているため危険ですから、絶対に手を入れないでください。
- ⑦作業の中断・終了の時、機械の調整・修理の時、「プラステール」の装填・抜き取りの時、機械を移動させる時には、必ず電池パックを抜いてください。
機械が不意に作動すると危険ですから、必ず本機より電池パックを抜いてください。
- ⑧機械故障ランプ点滅時(ランプが5回ずつ早く点滅)は直ちに使用をやめ、ホントイスイッチを切り、電池パックを抜いてお買い求めの販売店、又はマックスエンジニアリングサービス(株)に点検・修理に出してください。

⚠ 注意

- 2度打ちは絶対にしないでください。
2度打ち(袋やネットの挿入口付近に「プラステール」のあるうちに、2重に「プラステール」を打つこと)をすると、本機の破損やトラブル(「プラステール」づまり等)の原因となります。絶対にしないでください。

⚠ 安全作業のために

作業後

⚠ 警告

- ①作業終了時や、作業を中断して機械から離れる時は、必ずホントイスイッチを切り、電池パックを抜いてください。
短時間でも機械から離れる時は、思わぬ事故を防ぐため、必ずホントイスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
- ②品物を挿入する時は、必ず中身が入った袋やネットの底面持って作業を行なってください。

⚠ 注意

- ①空打치를絶対にしないでください。
結束物を挿入せずに空打ちをすると、本機の破損やトラブルの原因につながりますので、絶対に行わないでください。
- ②作業終了、調整・修理の時には必ず「プラステール」を抜き取ってください。
「プラステール」の抜き取りについては「「プラステール」の取外し方法」を参照してください。
- ③本機を掃除してください。
作業終了の時には次の手順に従って、必ず本機を清掃してください。

塩分やほこりによる錆や作動不良を防止するため、作業終了時には、ほこりや袋、ネットのカスを乾いた布でよく拭き取ってください。この時、水をかけると錆の原因となりますので、絶対に水をかけないでください。
結束部やカッタ部はエアダスタ等で必ず吹き飛ばしてください。ほこりや切りカス等をそのままにしておくと、作動不良の原因となります。
- ④本機を絶対に改造しないでください。
本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく、安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

仕様

〈本体〉

商 品 名	マックス充電式袋とじ機 モバイルパックナー
商 品 記 号	HR-JH(F)/P
寸 法	(W)179 x (D)438 x (H)260
質 量	6.5kg (電池パック抜き)
使用 ク リ ッ プ	マックス「プラステーブル」 S615V0-P/ポビンシリーズ
ク リ ッ プ 装 填 数	3,000本
作 動 時 間	0.5秒/1サイクル
使用 電 池 パ ッ ク	マックス リチウムイオン電池/パック JP-L91450A
1 充 電 結 束 数	5,000回以上 ※マックス リチウムイオン電池/パック JP-L91450A 新品・満充電・常温環境下(15℃)でご使用の場合。結束数は使用環境によって変化します。
使用 温 度 範 囲	0℃～40℃
ご 使 用 時 に 必 要 な 別 売 品	<ul style="list-style-type: none"> ・マックス「プラステーブル」S615V0-Pポビンシリーズ ・マックス リチウムイオン電池/パック JP-L91450A ・マックス リチウムイオン充電器 JC-925A ・マックス袋とじ機 パックナーオイル
オ プ シ ョ ン	タテガタキット(垂直使用向けのスタンドセット) ※詳しくはお買い求めの販売店、又はマックス営業マンにお問い合わせください。

※上記仕様は改良のため、主要機能及び形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

〈クリップ使用範囲〉

商 品 記 号	S615V0-P/ポビンシリーズ		
袋 種 類	OPPボードン袋	ポリエチレン袋	棒ネット
袋 幅	150～230mm	100～230mm	折径230～310mm
袋 厚 み	20～25ミクロン	30～40ミクロン	目数70～100
	60mm ² ～115mm ²		
内 容 物 質 量	1.25kgまで		

※内容物や袋の種類によっては十分な結束力が得られない場合があります。作動前に必ず確認し、ご使用ください。

ご使用時に必要な別売品の仕様

〈電池パック〉

商 品 名	マックス リチウムイオン電池パック
商 品 記 号	JP-L91450A
電 池 種 類	リチウムイオン電池
公 称 電 圧	14.4V
公 称 容 量 (定 格 容 量)	5.0Ah (4.9Ah)
付 属 品	パックキャップ (短絡 (ショート) 防止用)
質 量	0.5kg



リチウムイオン電池パック
JP-L91450A

※上記仕様は改良のため、主要機能及び形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

〈充電器〉

商 品 名	マックス リチウムイオン充電器
商 品 記 号	JC-925A
電 源 (入 力)	AC100V 50/60Hz 220VA
充電電圧/電流 (出力)	DC14.4V/4.0A
充 電 時 間	JP-L91450A 実用充電 約55分 (容量の約80%) 満充電 約80分 (容量の約100%)
質 量	0.7kg
使用温度範囲	5℃～40℃



リチウムイオン急速充電器
JC-925A

※上記仕様は改良のため、主要機能及び形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

〈潤滑油〉

商 品 名 (部 品 名)	マックス袋とじ機 パックナーオイル ※当商品は部品扱いとなり、部品名は「パックナー オイル」です。
商 品 記 号	TT05101
内 容 量	100ml

※上記仕様は改良のため、主要機能及び形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

電池パックと充電器の使い方

⚠ 警告

- 指定電圧で充電する。
必ずAC100Vのコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。
- 昇圧器などのトランス類、直流電源や指定以外の発電機では使用しない。
故障の原因となるだけでなく異常に発熱し、火災のおそれがあります。
- 正常なコンセントを使う。
充電器の電源プラグを差し込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと加熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

充電方法

お買い上げ時の電池パックについて

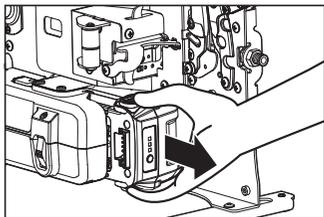
お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

⚠ 警告

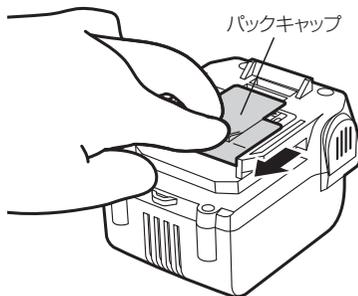
- お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていませんが、本機に取り付け、スイッチ操作すると作動するおそれがあるので注意する。
- 電池パックを本機に取り付け、取り外しをするときは、メインスイッチをOFFにする。

一度使用されて電池パックを本機に取り付けている場合

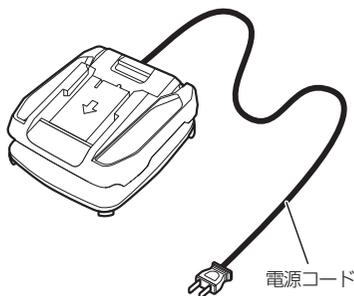
本機より電池パックを取り外します。左右両側にあるラッチを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取り外してください。

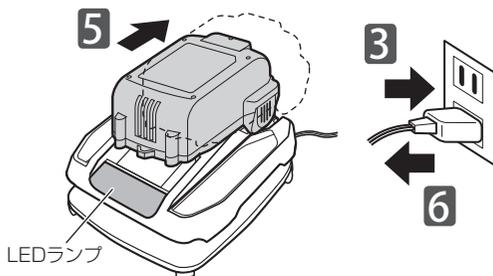
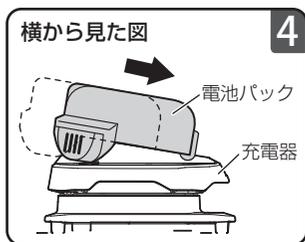


- 1 電池パックの端子部にかぶせてある短絡（ショート）防止用のパックキャップを外してください。

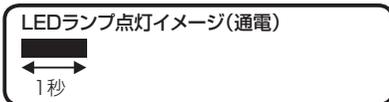


- 2 充電器に巻いてある電源コードを丁寧に伸ばしてください。





3 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。LEDランプが1秒間点灯し、通電状態をお知らせします。



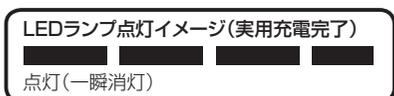
4 電池パックを充電してください。

①電池パックを充電器の電池パック装着口の奥にあたりカチッというまでしっかりとスライドさせます。このとき、電池パックのストッパが充電器にしっかり掛かっていることを確認してください。

②電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。充電を開始すると、充電済みの容量に応じてLEDランプが下の3パターンで点滅します。

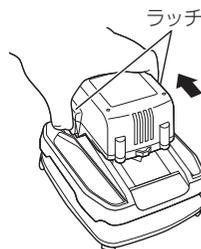


③LEDランプが下の表示に変わったら実用充電完了です。この状態で電池パックの容量の約80%充電されています。(充電時間・充電容量は、気温や電源電圧により多少変動します。)



実用充電が完了したら使用できますが、そのまま電池パックを抜かないでおくと、残りの容量を充電し続け、LEDランプが点灯になれば満充電完了(容量の約100%)です。

5 充電が完了したら、ラッチを押しながら電池パックを充電器から抜き取ってください。



6 電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

LEDランプ表示一覧表⑧の「温度待機中」が表示された場合

電池パックが高温の場合

電池パックが熱を持っているとき(例: 工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たるところに長時間放置した後など)は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。使用しないで放置したり日陰に置くなどして電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

電池パックが低温の場合

電池パックが低温(5℃未満)の場合、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が上がるまで充電を自動的に待機します。電池パックを室内など常温の場所に置くなどして電池パックの温度が上がると、自動的に充電がスタートします。

LEDランプ表示一覧表⑨の「充電エラー」が表示された場合

充電できない状態です。

- ・この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜き、電池パック・充電器の端子部に異物が入っていないか、また濡れていないか確認してください。もし異物が入っていたり濡れていたりした場合には、柔らかい布等でふき取ってください。
- ・LEDランプが点滅し続けるときは、電池パックの寿命であるか、もしくは電池パックが充電器に異常があると考えられます。別に電池パックをお持ちの方は、電池パックを変えてお試しください。
- ・それでもLEDランプが点滅する場合は、すぐに使用を中止してください。決してご自分で修理なさらず、電池パック・充電器両方を一緒に、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。

電池パックをセットしても③～⑨の表示にならない場合

電源電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、充電器保護のために充電できません(LEDランプも点灯しません)。電源状態をご確認いただき、コンセントに直接つないだり、発電機の使用をやめる等して、電源状態を改善してください。

その他の注意事項

- ・満充電した電池パックを再度充電器にセットすると再び③～⑥の表示になることがありますが、故障ではありません。しばらくすると、満充電完了の⑦の表示になります。
- ・充電時間は周囲温度や電池パックの状態により長くなることがあります。
- ・電池パックを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。
- ・一度充電が完了した後、次の充電まで充電器を5分以上休ませてください。

充電時の故障について

次のような状態のときは、充電器または電池パックに故障があると考えられますので、決してご自分で修理なさらず、電池パック・充電器両方を一緒に、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。

- ・ 充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントに差込んでも、「充電器通電」の表示にならない。
- ・ 電池パックをセットしても、充電を開始しない。
- ・ 「温度待機中」の表示後、温度環境を改善して1時間以上たっても充電を開始しない。
- ・ 充電を開始して4時間以上経過しても「実用充電完了」または「満充電完了」に切り替わらない。

壁掛けについて

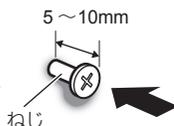
本機は壁に掛けて使用することができます。

⚠ 注意

本機や電池パックの落下を防ぐために、以下を必ず守る。

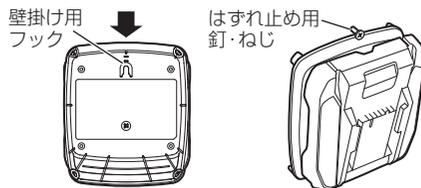
- ・ 壁掛け用のねじ・釘は、抜けたり曲がったりしないよう注意してください。柔らかい部材や不安定な部材に留め付けたり、細すぎるねじ・釘を使用すると、本機が落下しけがや事故の原因となります。
- ・ 本体のはずれ止め用に、掛け部とは別にもう1本のねじ・釘を使用してください。
- ・ はずれ止め用ねじ・釘を取付ける場合、電源コードに傷をつけないよう注意してください。
- ・ 電池パックはロックされるまでしっかりとセットしてください。
- ・ 電池パックの抜き差しは、必ず両手で行ってください。
- ・ 電源コードを引っ掛けないように注意して配線してください。

- 1** 掛ける部材にねじ・釘を5~10mm程度浮かせて留めつけてください。



使用釘・ねじ	長さ
N・CN釘	65~90mm
コーススレッドねじ	41~90mm

- 2** 留め付けた釘・ねじに、本体裏側の壁掛け用フックを掛け、その後はずれ止め用の釘・ねじを追加して留め付けます。



- 3** 電池パックのセット時には必ず電池パックのストッパがロックされるまでしっかり奥まで差込んでください。また抜き差しは必ず両手で行ってください。



電源コードの巻き付け収納について

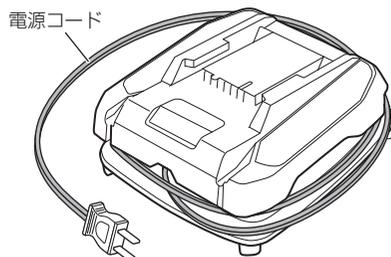
本機は電源コードを本体に巻きつけて保管することができます。

⚠ 注意

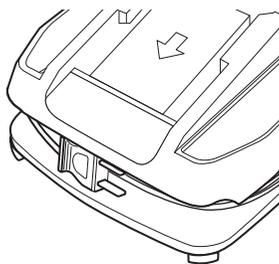
電源コードを乱暴に扱わない。

- ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜いたり、巻き取ったコードを無理に引っ張ってほどかないでください。
- ・ 電源コードを熱・油・角のものがつたとこに近づけないでください。
- ・ 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- ・ 充電器を充電袋と同じ機のケースへ収納する際には、はさみ込みに注意してください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。

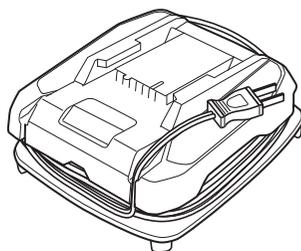
1 本体側面の溝に沿って電源コードを巻きつけてください。その際に無理に電源コードを引っ張ったりしないでください。



2 電源プラグおよび電源コードの固定方法は2通りあります。巻き取った際の電源プラグの位置によって、お好みの方法で固定して収納してください。



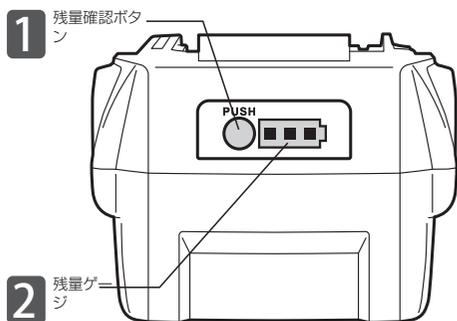
本体前面の奥のスペースに入り込ませる



本体背面の電源コード固定部を通す

電池残量表示について

本機は充電中と充電袋とし機の運転中を除き、いつでも電池残量を確認することができます。



1 電池残量を確認したい時（充電中または充電袋とし機運転中以外）に、残量確認ボタンを押してください。

2 その時の電池残量に応じて、残量ゲージが点灯します。

電池残量	電池残量の表示方法
0%	 全て消灯
約0~10%	 1個 点滅
約10~40%	 1個 点灯
約40~70%	 2個 点灯
約70~100%	 3個 点灯

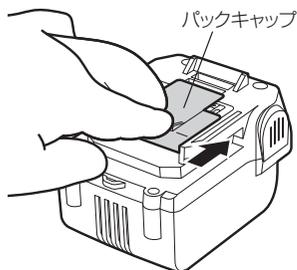
⚠ 注意

- 充電中や充電終了直後、充電袋とし機の運転中は、残量確認ボタンを押しても残量が正しく表示されません。
- 残量表示はあくまで目安です。作業負荷や周囲温度によって残量が正しく表示されない場合がありますが故障ではありません。
- 表示される電池残量は、満充電完了した時に充電された容量を基準にしています。例えば、新品の電池パックと長期間の使用等により劣化した電池パックを比較した場合、同じ30%の電池残量であっても、そこからの作業量は異なります。

電池パックを長持ちさせるために(保管方法)

⚠ 警告

- 使用後は、本機から電池パックを取り外し、短絡(ショート)防止用のパックキャップを電池パック端子部にかぶせて保管する。



⚠ 注意

- 工具を使用した直後の電池パックは、放熱させてから充電する。
すぐに充電すると電池パックの寿命が短くなります。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのはやめ、充電する。
無理して使いつづけると電池パックが傷み、寿命が短くなります。
- 夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所に放置・保管しない。
高温の場所に放置しますと電池パックの劣化の原因になります。理想的な保存環境は10℃～30℃の乾燥した暗所です。
- 使い切った状態のまま電池パックを保管しない。
充電が空の状態です長時間放置すると電池パックの故障の原因になります。
使い終わったらすぐ充電してください。
- 電池パックを本機や充電器に装着したまま保管しない。
微弱な電流が流れつづけて、そのままにしておくと過放電状態になり電池パックの故障の原因になります。必ず電池パックを外して保管してください。

電池パックの寿命について

正しく充電しても結束回数が著しく低下した場合には、電池寿命がつかしたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池同梱品を輸送する場合、次の点を注意してください。

⚠ 警告

- 必ずパックキャップをかぶせる。
- リチウムイオン電池を輸送する場合には、個々の電池が触れないように分けて強固な包装で梱包する。
- リチウムイオン電池同梱製品を輸送する場合には、付属のキャリングケースに入れる。
- 輸送会社・航空会社に相談の上、適切な輸送方法で輸送する。

リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄のマックス販売拠点・マックスエンジニアリングサービス(株)へお持ちください。環境の保全と資源リサイクルにご協力をお願いいたします。

⚠ 警告

- 電池パックは短絡(ショート)防止のため、端子部(金属部)に必ずパックキャップをかぶせ(絶縁テープを巻いて)リサイクルに出す。



Li-ion
リチウムイオン
電池はリサイクルへ

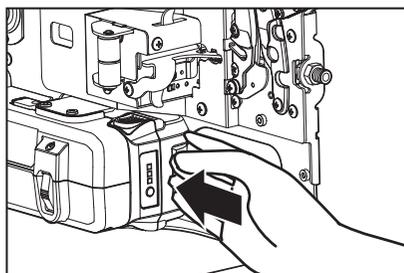
使用方法

電池パックの取り付け、取り外し方

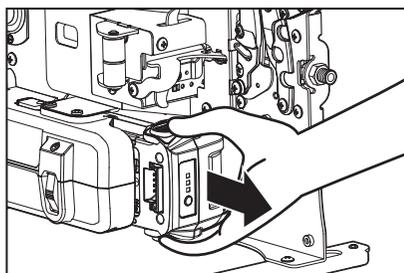
⚠ 警告

- 電池パックを本機に取り付け、取り外しをするときは、ホンタイスイッチをOFFにする。
- 使用前には、電池パックが本機に確実に取り付けられていることを必ず確認する。
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下して怪我などのおそれがあります。

取り付けは、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



電池パックを本機から取り外すときは、左右両側にあるラッチを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取り外してください。



⚠ 注意

- 電池パックを抜き差しするときは周囲の部品に手を当てないよう注意する。

「プラステール」のセット方法

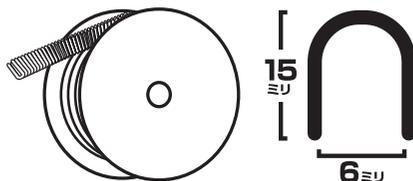
本機はマックス「プラステール」 S615V0-P/ボビンシリーズ専用です。ご使用の際は、「プラステール」の絡まりにご注意ください。

⚠ 警告

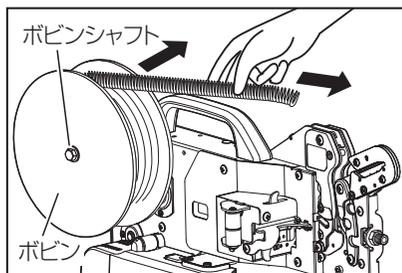
- 必ず本機のホントイスイッチをOFFにし、電池パックをはずす。
- 必ずマックス純正の「プラステール」を使用する。

⚠ 注意

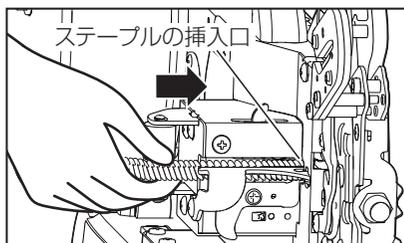
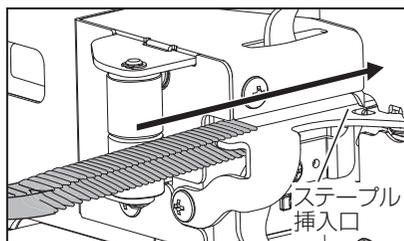
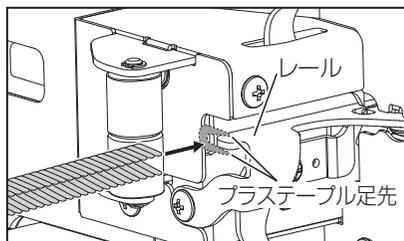
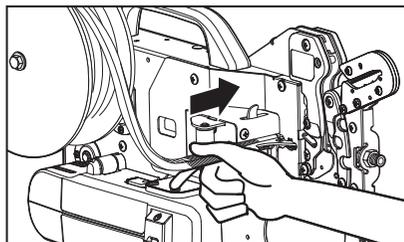
- 「プラステール」を落下させたり、強い衝撃を与えない。
- ボビンや「プラステール」を濡らさない。



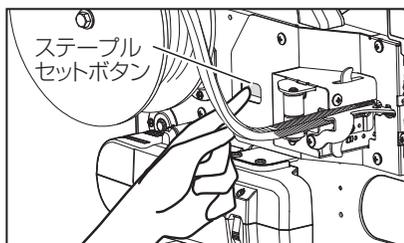
- ①ボビンの中心の穴にボビンシャフトを、「プラステール」が上から出てくる方向で差し込み、クリップの先端を保持してください。



- ② プラステーブルをレールに挿入し、そのままステープル挿入口まで押し込む。プラステーブルは差し込めなくなるまで押し込んでください。



- ③ ステープルセットボタンを押せばセット完了です。
ステープルセットボタンはしっかり押してください。押し込みが足りないと袋とじ作業時にステープルが出ないことがあります。その場合はもう一度ステープルが奥に突き当たるまで差し込み、ステープルセットボタンをしっかり押し込んでください。



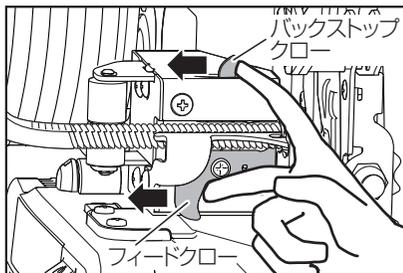
「プラステープル」の取り外し方法

⚠注意

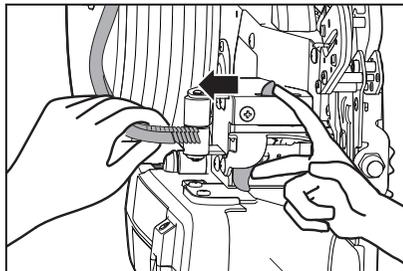
- 作業の終了、機械の移動・修理の時は、必ず「プラステープル」を抜き取る。
- 「プラステープル」を抜き取る時は、必ずホントイスイッチをOFFにし、電池パックをはずす。

①ホントイスイッチをOFFにして電池パックを抜き取ってください。

②バックストップクロー(逆止ツメ)、フィードクロー(送りツメ)を同時に指で矢印の方向へ引き、プラステープルのロックを解除してください。



③2つのツメを解除したまま、反対の手でプラステープルを抜き取ってください。



袋カッター位置の確認・変更方法

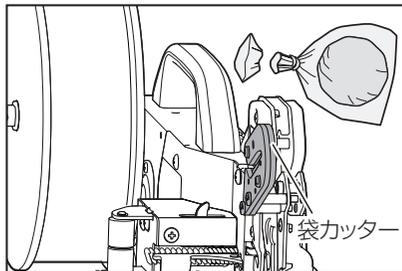
警告

- 必ず手袋をはめて作業する。
- カッターの刃に直接触らないよう細心の注意を払って作業する。

本機は、袋カッターの位置を変更することができます。

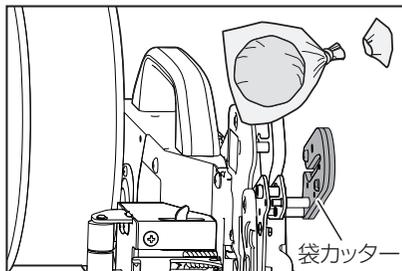
A：内容物を右手で保持したい場合

⇒ カッターは左側(出荷時の状態)

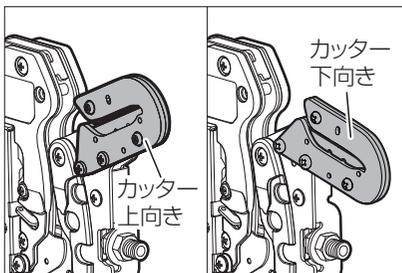


B：内容物を左手で保持したい場合

⇒ カッターは右側(付け替えが必要)

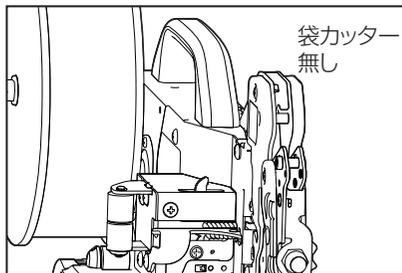


※A・Bどちらでもカッターを下向きにできます。



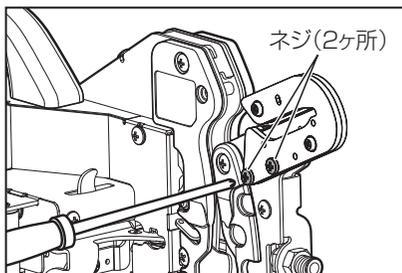
C：カッターを使用しない場合

⇒ 取り外し可能



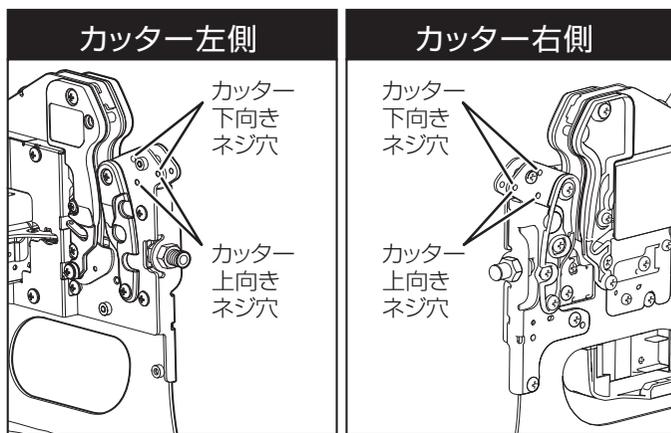
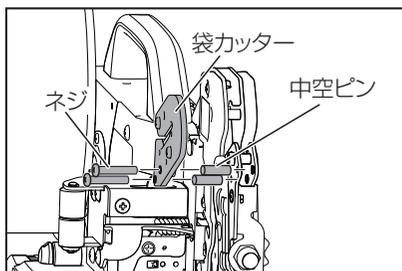
【必要工具: プラスドライバー No.2】

- ① 袋カッターを取り付けている2か所のネジを、プラスドライバーで外してください。

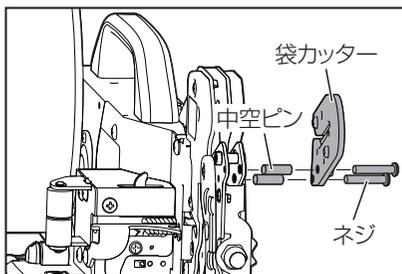


ご注意

- 袋カッターと本体との間に中空ピンがあり、ネジを外すと落下しますので、なくさないように注意してください。



- ② 袋カッターと本体との間に中空ピンを保持しながら、袋カッターの外側から差し込み、2か所のネジをプラスドライバーで締め付けたら完了です。



⚠ 警告

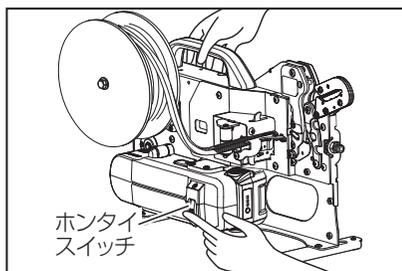
- ネジはしっかりと締める。
ネジが緩んでいると、袋カット時に袋カッターが動いて危険ですのでしっかりと締め付けてください。

警告

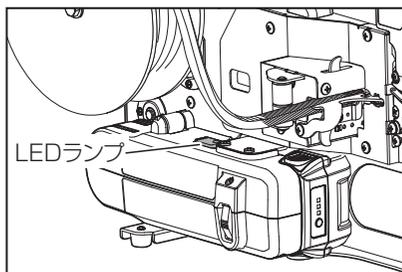
- 本機を設置する作業台の安定性が悪いと、倒れたりして危険ですので、安定した台を使用する。
- 袋カッター部に絶対に指を入れない。
- 「プラステール」送り部付近に絶対に手を入れない。
「プラステール」送り部は機械が作動しているため危険ですから、絶対に手を入れないください。

〈電源を入れる〉

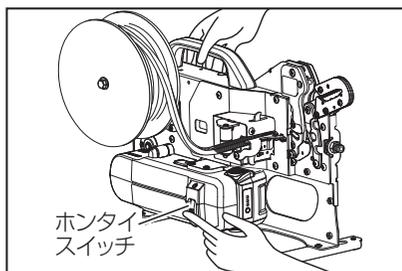
- ①電池パック・「プラステール」がセットされた状態でホンタイスイッチを押してください。



- ②スイッチを押した後、LEDランプが点灯したことを確認してください。点灯していたらスタンバイ完了です。



電源を切るには、ホンタイスイッチを押してください。



〈袋とじ方法〉

⚠ 警告

- 使用前に必ず正常に動作するか確認する。正常に動作しない場合は使用しない。

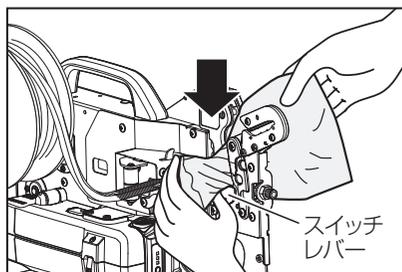
⚠ 注意

- 使用前に必ず、「プラステープル」が十分な保持力でとめられているかを確認する。
- 空打ちとなった場合、必ず袋挿入口に「プラステープル」が残っていないかどうか確認して取り除く。

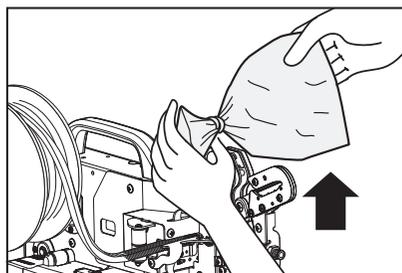
①使用前に必ず正常に作動するか確認してください。

(確認方法) 電池パック・「プラステープル」をセットした状態で、品物が入っていないカラの袋を、結束部を約1周ねじって、挿入口から入れ、下に押し下げてください。

②挿入口下部で、スイッチレバーを袋で押し下げると機械が作動し袋がとじられます。

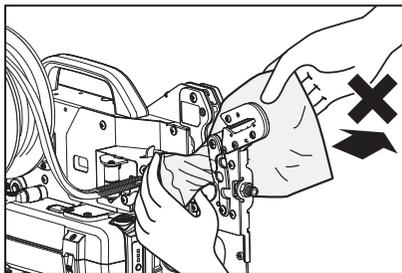


③とじ終わったら、挿入した方向に袋を戻し、取り出します。



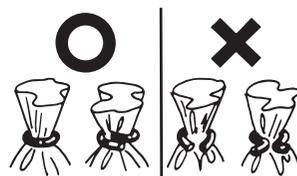
⚠️注意

- 結束後、袋を内容物の方向(機械に向かって横の方向)に引き抜かない。
誤って横に引き抜いてしまった場合は、ステープルが挿入口に残ってしまう事があります。その場合は、ホントイスイッチをOFFにして、電池パックを抜き、中に残ったステープルを除去してください。



- ④ 取り出したら、袋をとじている「プラステープル」の形状が正常な状態になっているか、また「プラステープル」が袋から抜けないうちを確認してください。

とじ具合が「強すぎる」または「弱い」場合には、「プラステープル」の締め付け力の調整手順に従って締め付け力を調整してください。



ステープルが抜ける

- ⑤ 品物を入れた袋で①～③に従って、袋口結束作業を行ってください。
ネット袋の場合は、袋に比べて「プラステープル」がネット袋から抜けやすい為、特に注意して保持力が充分かどうか確認してください。

「プラステーブル」の締め付け力の調整手順

⚠ 警告

- 必ず手袋をはめて作業する。
- 必ず本機のホントイスイッチをOFFにし、電池パックをはずす。

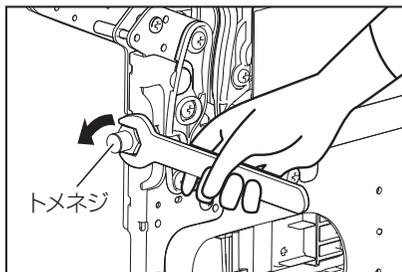
⚠ 注意

- 「プラステーブル」がセットされている場合は本機からはずす。

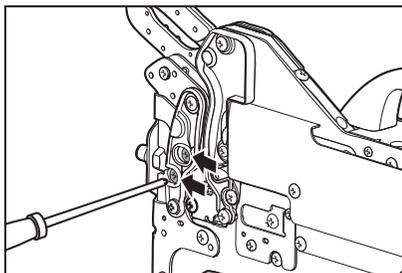
本機は、出荷の際は棒ネットの保持力に適したクリンチャの位置で出荷しておりますが、大きな袋の結束が多い場合などでは、クリンチャ位置の調整をして、「プラステーブル」の締め付け力の調整が必要です。次の手順に従って調整してください。

【必要工具:スパナ14mm、プラスドライバーNo.2】

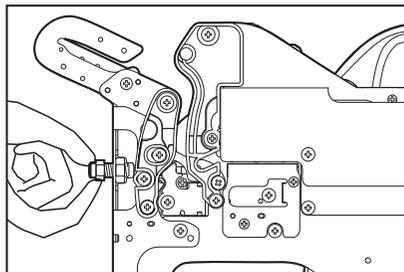
- ①ロックナットをスパナでトメネジの半分程度まで緩めます。



- ②2か所のネジをプラスドライバーで緩めます。

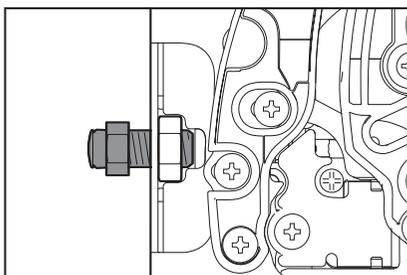


- ③トメネジを指でつまんでクリンチャASSYの位置を調整します。

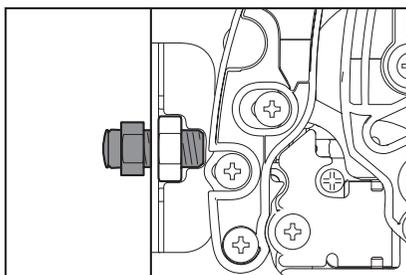


⚠注意

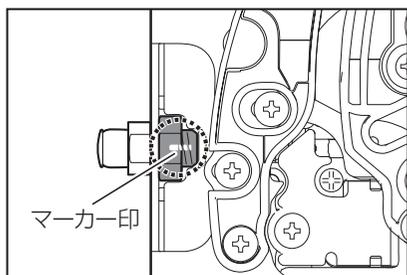
- 調整は45度を目安にネジを回してください。一度に回しすぎると故障の原因になります。
 - ・右回り…締め付け力を強くする
 - ・左回り…締め付け力を弱くする



締め付け力が最も弱い状態



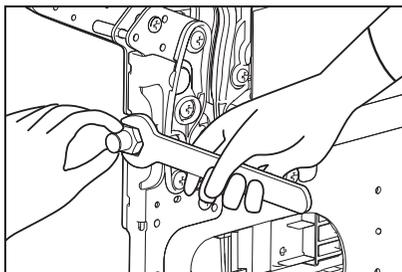
締め付け力が最も強い状態



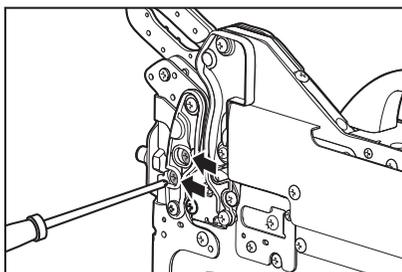
出荷時の位置

出荷時は、目印の為に、ネジの上部とナットに油性マーカーで印をつけています。

- ④トメネジが動かないよう指で保持しながら、ロックナットをスパナで固定します。



- ⑤2か所のネジをプラスドライバーで締め付けます。



- ⑥電池パック・「プラステーブル」をセットし、ホントイスイッチをONして試し打ちをします。

- ・さらに締め付け力を弱く/強くしたい場合は、手順の①～⑤を繰り返してください。トメネジの調整は45度ずつを目安に繰り返しながら最適な位置を見つけてください。

カッターの交換手順

袋カッターは消耗品です。切れ味が悪くなったら交換してください。

・交換用のカッターは、マックスエンジニアリングサービス扱いの部品となります。

部品名:カッター

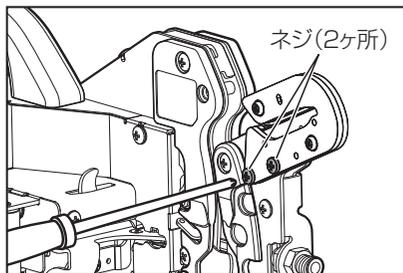
部品コード:HR11833

⚠ 警告

- 必ず手袋をはめて作業する。
- 必ず本機のホントイスイッチをOFFにし、電池パックをはずす。

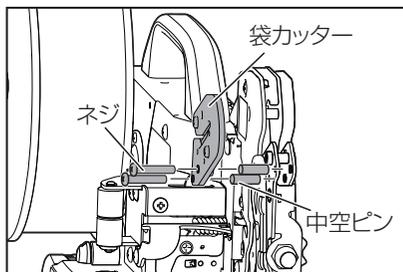
【必要工具:プラスドライバーNo.2】

- ①袋カッターを取り付けている2か所のネジを、プラスドライバーで外してください。



ご注意

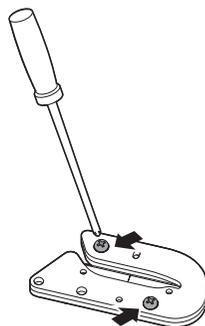
- 袋カッターと本体との間に中空ピンがあり、ネジを外すと落下しますので、なくさないように注意してください。



- ②カッターを挟んでいる2枚のプレートを押めてある2か所のネジを、プラスドライバーで外します。

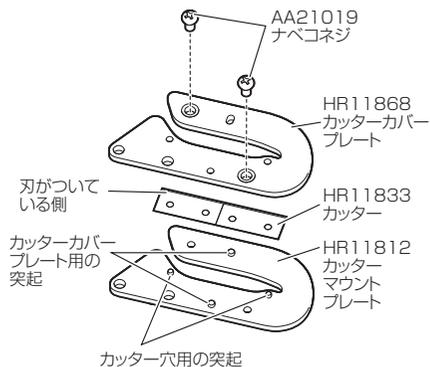
⚠ 警告

- カッターの刃に触れないよう細心の注意を払う。

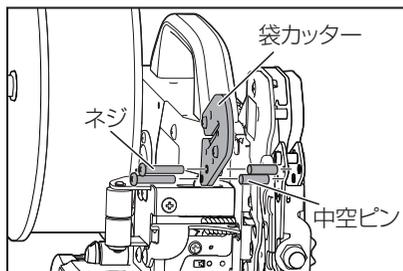


③プレートを開き、カッターを交換します。

- ①各部品を右図のような配置で組付けます。
- ②カッターの刃がついている側を右の図のように配置し、左右の穴を、カッターマウントプレートの「カッター穴用の突起」に差し込みます。
- ③カッターマウントプレートの「カッターカバープレート用の突起」に、カッターカバープレートの穴を合わせてカッターを挟みます。
- ④2か所のネジを締めます。



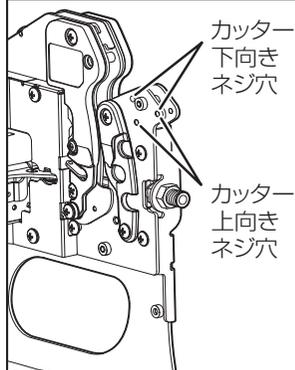
④上記③で出来上がったユニットを、袋カッターと本体との間に中空ピンを保持しながら、カッターの外側から差し込み、2か所のネジをプラスドライバーで締め付けたら完了です。



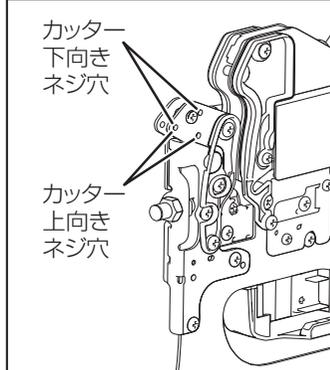
警告

- ネジはしっかりと締める。
ネジが緩んでいると、袋カット時に袋カッターが動いて危険ですのでしっかりと締め付けてください。

カッター左側



カッター右側

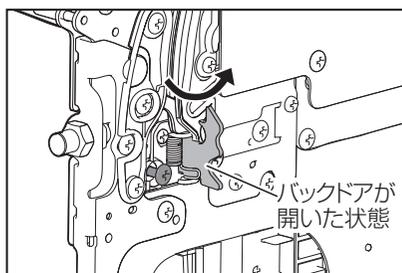
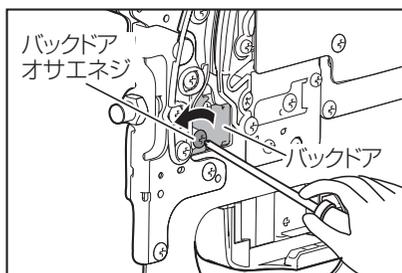


警告

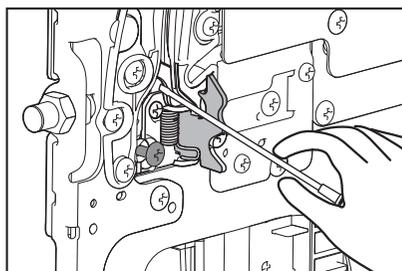
- 必ず手袋をはめて作業する。
- ステープルの除去は、指ではなく先端の細い工具を使用する。
- 必ず本機のホントイスイッチをOFFにし、電池パックをはずす。

【必要工具: プラスドライバーNo.2、先端が細い工具】

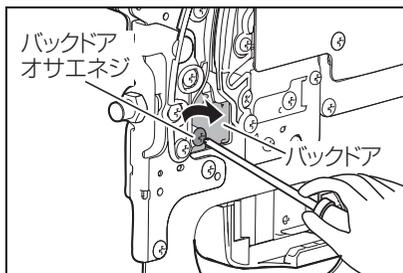
- ①ステープルを本体から抜き取ってください。方法は「[プラスステープル]の取り外し方法」を参照してください。
- ②バックドアオサエネジを反時計回りに、プラスドライバーでバックドアが開く位置まで回してください。



- ③先端が細い工具で詰まっているステープルを除去してください。



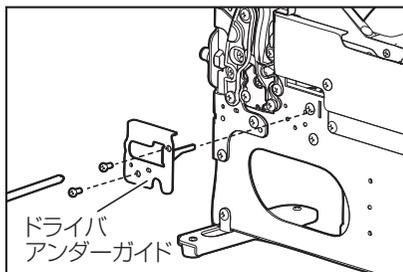
- ④バックドアを閉め、バックドアオサエネジを時計回りに締めてください。



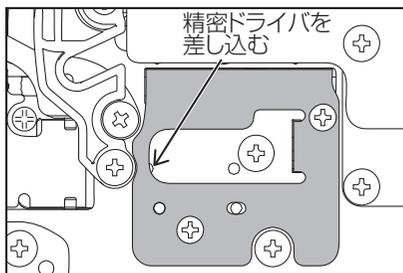
- ⑤品物が入っていないカラの袋で、正常に結束できるかどうか確認してください。
方法は「作動方法」を参照してください。
詰まっているステープルが無い・ステープルが出てこない場合は、以下をお試しください。

〈詰まっているステープルが無い・ステープルが出てこない場合〉

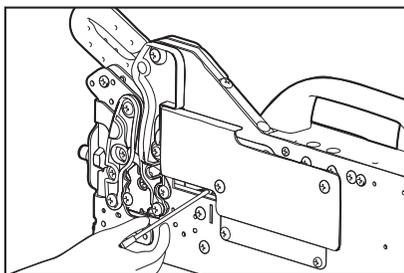
- ①ドライバアンダーガイドを固定しているネジを2か所はずして、ドライバアンダーガイドをはずしてください。



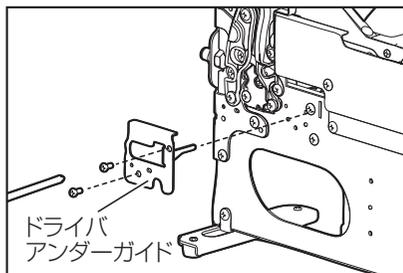
はずしにくい場合は、図の位置に精密ドライバを差し込んでください。



- ②先端が細い工具で詰まっているステープルを除去してください。



- ③ドライバアンダーガイドを、2か所のネジを締めて、もとの通りに組み付けてください。



- ④品物が入っていないカラの袋で、正常に結束できるかどうか確認してください。

方法は「作動方法」を参照してください。

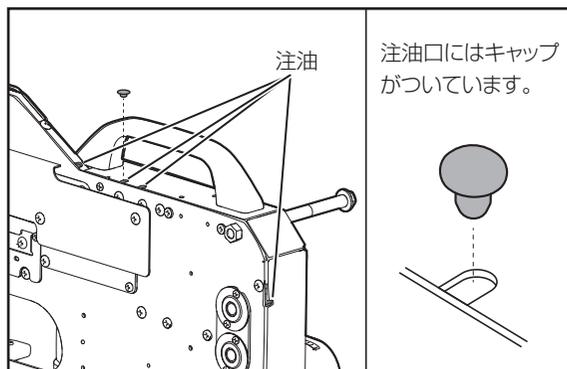
- ・詰まったステープルを取り除いてもステープルが出てこない場合
- ・どうしても詰まったステープルを取り除けない場合

は、お買い求めの販売店、又はマックスエンジニアリングサービス(株)にご相談ください。

性能を維持するために

①50,000結束に1回を目途に注油してください。

注油は矢印で示した4か所に行ってください



⚠注意

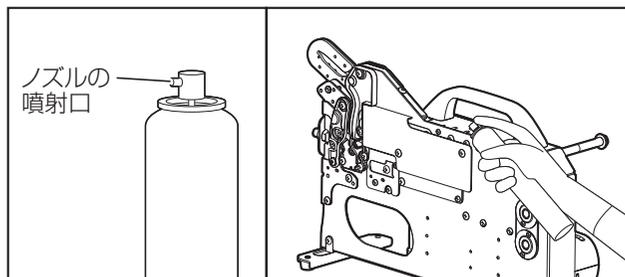
●指定の潤滑油以外は絶対に使用しない。

指定の潤滑油以外を使用すると、ステーブルの割れが発生する事があります。

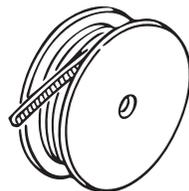
注油には、TT05101パックナーオイルをお買い求めください。

お買い求めは、機械・ステーブルをお買い求めの販売店、又はマックスエンジニアリングサービス(株)にご相談ください。

パックナーオイルのノズルの噴射口を穴に差し込み、ワンプッシュ(0.5秒程度)を目安にオイルを噴射してください。



- ②指定「プラステープル」を必ず使用してください。
指定以外の「プラステープル」をお使いになると故障の原因となりますので、必ず指定の「プラステープル」をご使用ください。



- ③空打ちを絶対にしないでください。結束物を挿入せず空打ちをすると、本機の破損やトラブルの原因につながりますので、絶対に行わないでください。



- ④2度打ちを絶対にしないでください。2度打ちをすると本機の破損やトラブル（「プラステープル」づまり等）の原因につながりますので、絶対に行わないでください。



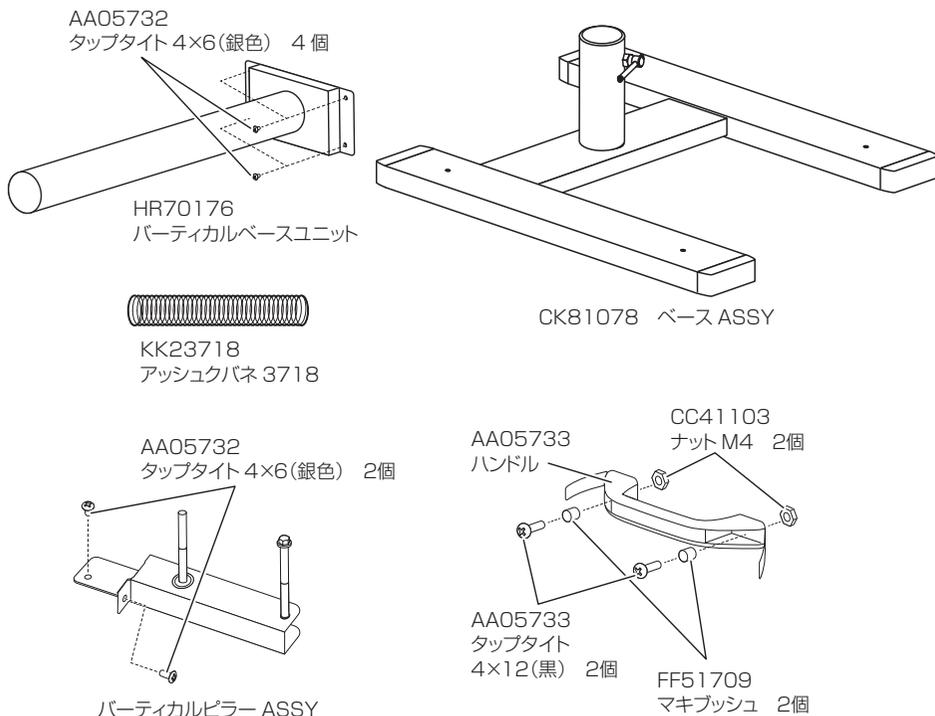
- ⑤定期的に点検に出してください。本機の性能を維持するために、使用回数50万回を目安に点検に出してください。ご用命はお買い求めの販売店または、マックスエンジニアリングサービス（株）にお申しつけください。

オプションパーツのご紹介

袋の中身が玉ねぎやジャガイモのように重い野菜や、果物の結束作業が多い場合や、中身が動きにくいようにきっちり結束したい場合は、袋を地面に対して垂直にして結束作業ができるようになる、付属のオプションパーツ「HR70186 タテガタキット」をご用意しています。設置スペースを確保できる場合には、導入をご検討ください。

ご用命はお買い求めの販売店又は、マックスエンジニアリングサービス(株)にお申し付けください。

〈必要なパーツ〉

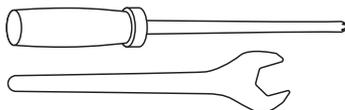


〈必要パーツのセットでのご用命〉

HR70186 タテガタキット

〈必要工具〉

プラスドライバーNo.2
スパナ(対辺7)

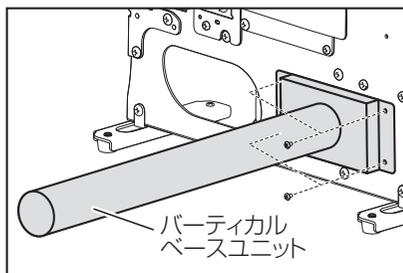
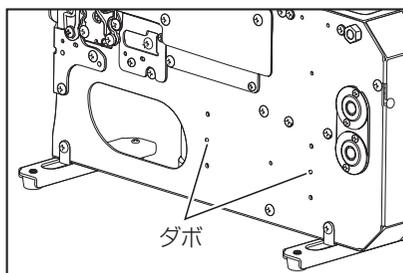


オプションパーツの組付け方法

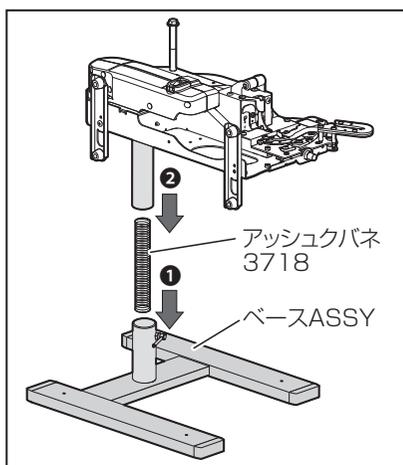
警告

- 必ず手袋をはめて作業する。
- カッターの刃に直接触らないよう細心の注意を払って作業する。
- 必ず本機のホントイスイッチをOFFにし、電池パックをはずす。

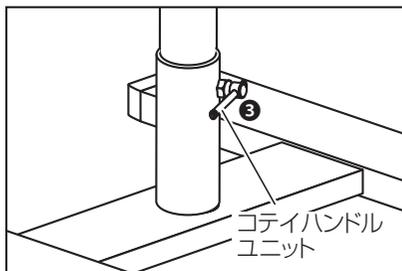
- ①機械本体に、HR70176 バーティカルベースユニットを組付けてください。組付けにはAA05732 タップタイト(S)4×6(+トラス)のネジ4本を使用します。ダボと穴も合わせて組付けてください。



- ②①ベースASSY にアッシュクバネ3718を差し込んで、
②アッシュクバネ3718にHR70176 バーティカルベースユニットを差し込みます。

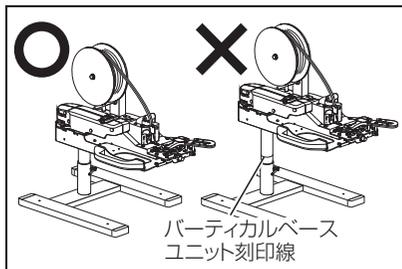


③お好みの高さでコティハンドルユニットをしっかりと締め付けて固定してください。

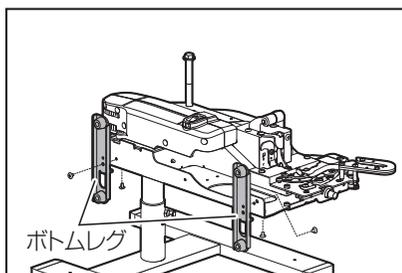


⚠️ 注意

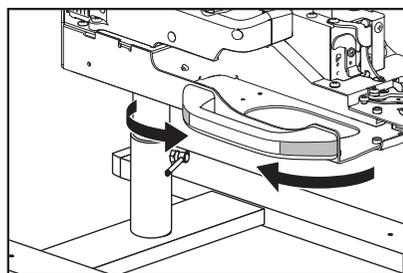
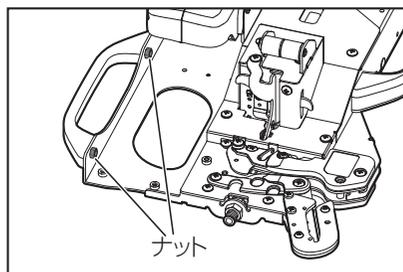
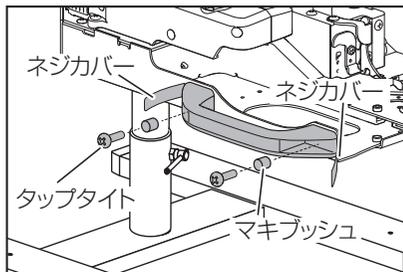
- パーティカルベースユニットには線が刻印されています。ご使用にあたっては、この線が見えない範囲で高さを固定しご使用ください。



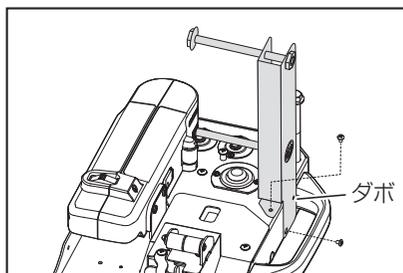
- ③2か所のボトムレグを外します。
各ボトムレグは2か所のネジで固定されています。



- ④ハンドルを機械本体に取り付け、ハンドル
左右のネジカバー部分を閉めてください。

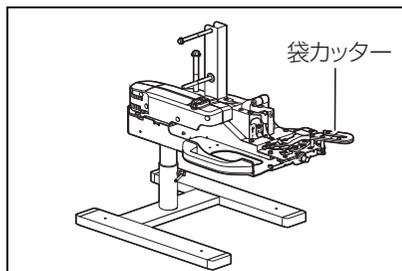


- ⑤機械本体に、バーティカルピラーASSYを
組付けてください。組付けにはAA05732
タップタイト(S)4×6(+トラス)のネジ2本
を使用します。
ダボと穴も合わせて組付けてください。

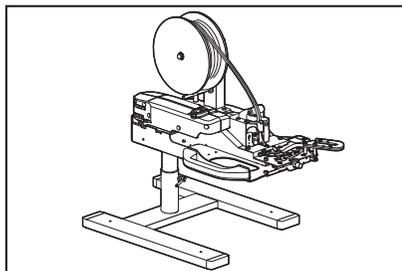


⑥袋カッターが機械の上面の位置に組付けられているか確認してください。

- ・機械の下部になっている場合は、「袋カッター位置の確認・変更方法」を参照して、位置を変更してください。
- ・袋カッターを使用しない場合は、「袋カッター位置の確認・変更方法」を参照して、袋カッターを取り外してください。



組付け完了図



ステーブルを装填された状態

LED ランプの表示について

	LEDランプ	電池パック	ホンタイスイッチ	状態	作業を開始するには
①	 点灯	差し込まれている	1回押した	スタンバイ状態です。	結束作業可能です。
②	 1秒点滅	差し込まれている	1回押した	電池パックの残量が少なくなっています。 ※点灯が始まってからの結束可能数の目安は500回(電池パック新品・常温時)	引き続き結束作業はできますが、作業が中断するタイミングで充電してください。
③	 0.5秒点滅	差し込まれている	1回押した	機械もしくは電池パックが高温です。	機械もしくは電池パックの温度が下がるまで作業を中断する。
④	 早い点滅	差し込まれている	1回押した	袋でスイッチレバーを押したままになっています。	袋を挿入口から引き抜いてください。もしくは、袋挿入口に詰まっているステープルを取り除いてください。
⑤		差し込まれている	1回押した	結束作業をしていない場合は機械の故障です。	お買い求めの販売店にご相談ください。
⑥	(消灯)	差し込まれていない	1回押した	電源がありません。	(1)電池パックを本体に差し込む。 (2)ホンタイスイッチを1回押す。
⑦		差し込まれている	1度も押ししていない	スタンバイ状態になっていません。	ホンタイスイッチを1回押す。 ※スタンバイ状態で5分結束作業しないと、自動的にLEDランプは消灯し同様の状態になります。
⑧		差し込まれている	2回押した	スタンバイ状態になっていません。	ホンタイスイッチをもう1回押す。
⑨	(消灯)	差し込まれている	1回押した	電池パックの残量がありません。	(1)電池パックを充電する。 (2)電池パックを本体に差し込む。 (3)ホンタイスイッチを1回押す。 以上(1)~(3)を試してもLEDランプがつかない場合は、電池パックの寿命、もしくは充電器の故障です。電池パックを充電する際に電池が充電できているか確認してください。 電池パックの寿命の場合は新しい電池パックをお求めください。 電池が充電できている場合は機械が故障していますので、修理をご依頼ください。

保証、アフターサービスについて

保証について

- 本機には保証書がついています。
 - 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
 - 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
- ※袋カッター、ドライバ、クリンチャは消耗品のため保証対象外です。

アフターサービスについて

- 本機の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。決してご自分で修理なさらないで、本機の性能回復に十分な技術と設備を有するマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがのおそれがあります。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。
- 本機を修理に出して頂く際は、必ず結束機本体だけでなく、充電器・電池パックも合わせてお出しください。

長期間使用しないときの注意

長期間使用しない場合は、電池パックを本体からはずし、電池パックを満充電した後、電池パックにパックキャップをつけて、高温にならない乾燥した場所に保管してください。電池パックは使用していなくても微量ですが自己放電しています。電池残量が少ないまま長期間使用しないと、電池パックが使えなくなってしまうです。長期間使用しない場合でも、6ヶ月に一度程度充電してください。

●マックスお客様ご相談ダイヤル

☎0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

マックス株式会社

●本社／AF営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

●販売拠点

- | | | | | |
|-----|---|-----|---|---|
| ・ 札 | 幌 | ・ 名 | 古 | 屋 |
| ・ 仙 | 台 | ・ 大 | | 阪 |
| ・ 東 | 京 | ・ 広 | | 島 |
| ・ 群 | 馬 | ・ 福 | | 岡 |

●マックスエンジニアリングサービス(株)

- | | | | |
|-----|-------------|-------|------------|
| ・ 札 | 幌サービスステーション | ・ 名古屋 | サービスステーション |
| ・ 仙 | 台サービスステーション | ・ 大 阪 | サービスステーション |
| ・ 高 | 崎サービスステーション | ・ 広 島 | サービスステーション |
| ・ 埼 | 玉サービスステーション | ・ 福 岡 | サービスステーション |

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

修理・部品のご注文等、アフターサービスにつきましては、お買い求めの販売店、またはマックスエンジニアリングサービス㈱までご相談ください。

HR90101
221226-00/00



便利メモ

お名前	商品名	HR-JH(F)/P		
お買い上げ日	年	月	日	製造番号
販売店名	☎			